

いっしょうさんたん
一嘗三嘆

ほじやけん
やっばり
瀬戸の小魚物語

松山めで鯛使

うちの佐智子は、
一生三平！

松山の子規さんは、
一嘗三嘆！

松山市では、子規庵のある東京根岸にちなみ、当地の名士であり、子規さんを尊敬し、愛し続ける林家三平さん・国分佐智子さん夫妻に松山めで鯛使(大使)として就任していただきました。今後は、市民や観光客の皆さんに対して、松山の鯛をはじめとする瀬戸の小魚の魅力をPRしていただきます。

※一嘗三嘆とは、子規さんが友人・清水則遠氏に宛てた書簡の中で、故郷・松山の鯛料理を「一口食べると、何度も感動するほど美味しい」と自慢した際に使った子規さんオリジナルの造語です。

作成：松山市 協力：松山市水産市場運営協議会

※背景は、松山・北条の夫婦岩となっています